

# 郡上農林事務所の普及活動状況

令和元年 11 月 26 日現在

## 今月の重点活動

### ■郡上八幡南天生産組合 産地情報交換会を開催

郡上八幡南天生産組合は、11月15日市場関係者を招いて情報交換会を開催した。昨年度まではこの時期に市場訪問を行っていたが、現地の栽培状況をより正確に把握してもらうため、今年度からこの方式に変更した。当日は、沖縄を含む主な出荷先である7市場のバイヤーが出席し、ほ場内で熱心に実のつき具合や品質を確認した。

10haを少し上回る程度の産地に、多くのバイヤーが集まったことから見ても、郡上という産地がいかに市場から期待されているのか伺い知れるものとなった。南天は「仏花」として関西市場で引き合いが強く、郡上地域が不作になると代替が利かずそのままプラスチック製のイミテーションに置き換わってしまいかねないことから、伝統を維持するためにも産地の強化が強く求められている。

このような状況にかんがみ、農業普及課では、経営の多角化を目指す生産者に対し、11～12月に稼げる経営補完品目として栽培を提案していく。



【生育を確認する市場バイヤー】

## 多様な担い手づくり

### ■水稲 第5回郡上おいしい米コンテスト決勝大会を開催

11月17日郡上市白鳥町の白鳥文化ホールにおいて、「第5回郡上おいしい米コンテスト決勝大会」が開催された。このコンテストは地場産米のブランド化を推進する目的で、郡上市農業振興協議会が主催し、農林事務所も構成員としてコンテストの企画立案・米の食味審査に携わり、当日の運営などの支援を行った。

今回は、郡上市内外の稲作農家及び農業法人に加え、新設された小中学校の部も含め、過去最高の113点の出品があり、予選審査における上位3点が当日の決勝審査にノミネートされた。当日の決勝大会では、特別審査員を務めた郡上調理師会の会員、米づくり優良事例の発表を行った郡上北高等学校の生徒に加え、コンテスト出品者など一般審査員約60名が試食して順位づけが行われ、最優秀賞が決定された。

また、昨年引き続き上位入賞米等の競売会を開催した他、米づくり優良活動の事例発表として、郡上北高等学校、六の里棚田米生産組合から発表があり、若手稲作農業者による「郡上のお米」プロジェクトによるロゴを活用した地場産米のPRに関する提案、ロゴを活用したTシャツのお披露目などが行われた。

今後も農業普及課は、このような活動を通して、地場産米のブランド化を推進していく。



【第5回郡上おいしい米コンテスト表彰者】

## 魅力ある農村づくり

### ■女性農業経営アドバイザー 第5回農業女子会を開催

11月26日(火)、郡上市の「郡上市総合文化センター」において農業女子会を実施し、アドバイザー、アドバイザーOG、女性農業者、加工業関連に働く女性、関係機関ら25名が出席した。

農業女子会は、郡上市の農業生産・加工・販売で活躍する女性、これから農業を始めたい女性を対象としている。

今回は「農作業中での救急・救命」をテーマに消防士を講師として迎え、農作業の救急救命の講習会を実施し、農作業中での熱中症対策やハチに刺されたりマムシに噛まれた時の対応などの実習を行った。

講習会后、交流会を実施し、「近くに同年代の女性農業者少なく、活発な情報交換ができた」、「女性農業者は内助の功の方が多く、外に出る機会が少ない。このような場を設けて、活躍の場を広げて欲しい。」など積極的な意見があった。

今後も、農業普及課では、女性農業経営アドバイザーの活動を支援する。



【第5回農業女子会の様子】